

睦月の京都東山を歩く (第55回くらわん会 2001/01/09)

氷雨がやってきそうな空模様のなか睦月の京都東山を、古都の歴史を感じながら三条から東山の名所旧跡を巡って五条まで、21世紀も健康のために歩いた。集合場所は京阪三条駅北の檀王法林寺、空模様が怪しく、他の行事も重なったが97名の参加と今年も盛況が続く。

初詣で賑わった広大な平安神宮も静けさを取り戻していた。鮮やかな丹朱と緑青の屋根の社殿は王朝風の華やかさである。この社殿は意外に新しく、明治28年に平安遷都1100年を記念して催された勸業博覧会のパビリオンの跡に、桓武天皇と孝明天皇を祀って神社にしたものだ。王朝風の華やかな大極殿、楼閣、本殿が左右対称に造営され、その背後には8万㎡の神苑が控える

南禅寺前から明治の元老山県有朋の別荘だった無鄰庵の横を通り、大楠が見事な青蓮院の前を歩いて知恩院に向かう。

浄土宗開祖の法然がこの地で入滅、総本山として知恩院が建立された。知恩院三門(重文)は高さ24mで日本一の木造門である。知恩院の境内中央にある御影堂は、徳川家の庇護により巨大な伽藍が再建された。

丸山公園の名物「しだれ桜」も、白い幹肌をさらしてオブジェのようだった。丸山公園の中は人影もまばらだったが、よく手入れされた庭園が見事だ。公園内の日本庭園には落ち葉と苔と石組みで落ち着いた雰囲気醸し出している。此处でゆっくりと昼食を摂る。

鮮やかな丹朱塗りの平安神宮は、平安遷都千百年を記念した勸業博覧会(明治28年)パビリオン跡



知恩院三門(重文)は高さ24mで日本一の木造門、浄土宗開祖の法然の入滅後、総本山として知恩院が建立された(重文)



知恩院の境内中央にある御影堂、徳川家の庇護により巨大な伽藍が再建された(重文)



丸山公園の名物「しだれ桜」も、白い幹肌をさらしてオブジェのようだった



丸山公園の中は人影もまばらだったが、よく手入れされた庭園が見事だ



石畳と風情のあるお店が点在する二寧坂をゆったりと歩く

北の政所ゆかりの高台寺に続く寧々の道をみながら、石畳が続き雰囲気のある二寧坂、産寧坂をのぼると道沿いには魅力的なお店が並び、立ち寄りたいた誘惑に駆られる。清水寺の門前には、清水人形や京扇子の店、お土産屋など京都の観光名所らしいお店が続いていた。

清水寺の仁王門は改修工事中だったが、同じく重文の三重塔、阿弥陀堂、国宝の本殿など見所が多く、世界遺産、古都京都の文化財が集まる。本殿に続く



素晴らしい民芸品や清水焼、茶店が並び産寧坂をのぼりきると清水寺の参道に出る

清水舞台からの京都の眺めは格別で紅葉や桜の頃の人出がうなずける。三重の塔で解散し、それぞれにコースを取る。舞台下の音羽の滝からちゃわん坂を経て京阪五条駅から帰った。



清水寺の参道には清水人形や清水焼、京扇子、お土産物などのお店が建ち並んでいる

清水寺の参道には清水人形や清水焼、京扇子、お土産物などのお店が建ち並んでいるのが昨年修復が終わった清水の舞台



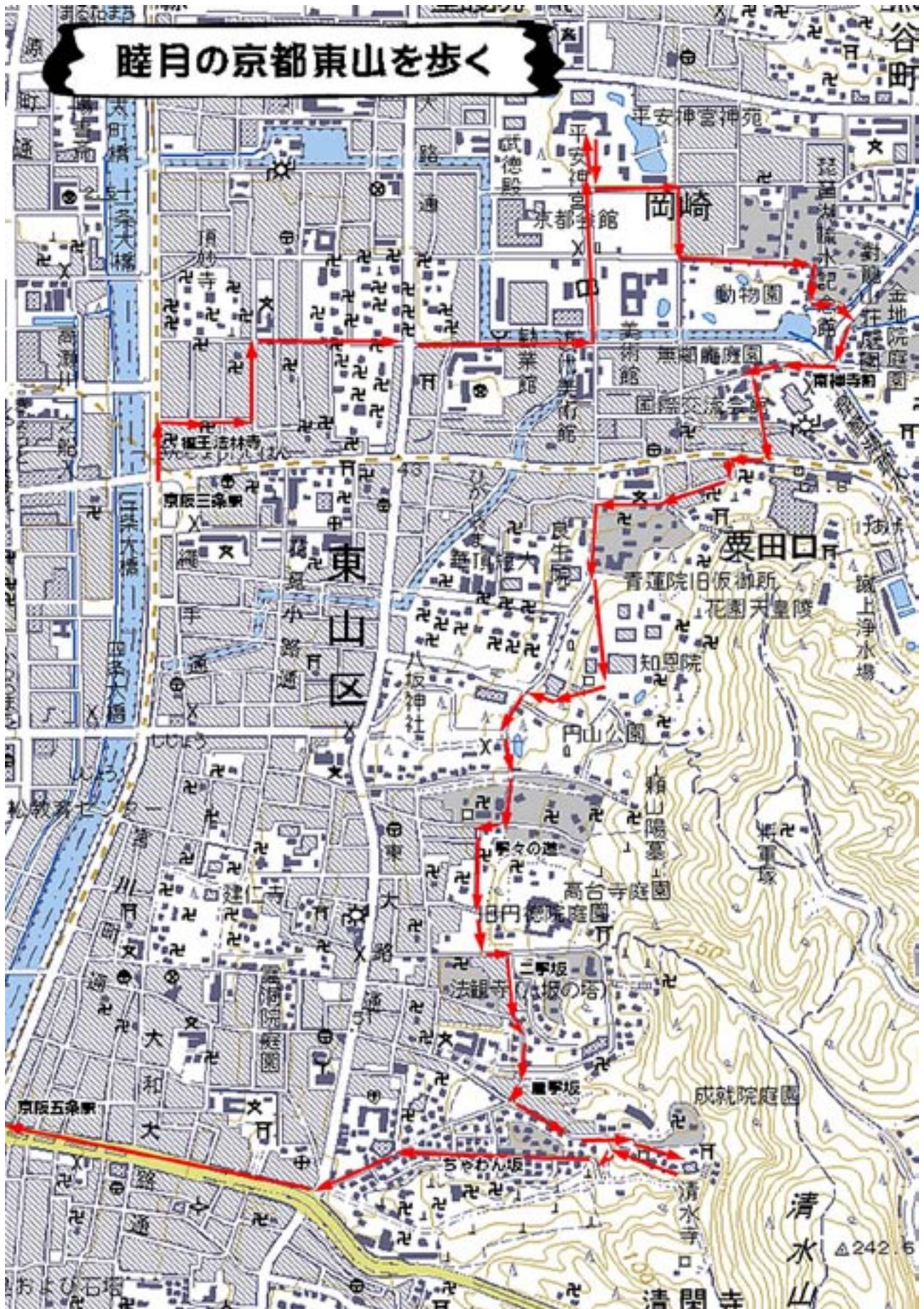
北の政所ゆかりの高台寺に続く寧々の道は板貼りの土塀と石畳、椿が咲いて歩いてみたくなる道



重要文化財になっている清水寺三重塔、仁王門は修復工事中だった



睦月の京都東山を歩く



<行程>

京阪三条駅⇒檀王法林寺(望西樓)⇒平安神宮⇒南禅寺前⇒無鄰庵⇒青蓮院⇒知恩院⇒丸山公園⇒寧々の道⇒二寧坂⇒産寧坂⇒清水寺⇒ちゃんわん坂⇒五条坂⇒京阪五条駅 7km